

子どもと本をつなぎます

「読書は大切」「本をたくさん読もう」などと、よく耳にしますが、インターネットやテレビの情報の方が速く、手軽で便利だと感じている子どもたちは少なくないはずです。読書は教養を高めるだけでなく、これからの人生の方向性を考えたり、自分自身と向き合ったりするときに、視野が広がり将来の可能性を広げます。

図書館では、子どもたちと本をつなぐために、「読書手帳」や「巡回図書」などで、児童・生徒の読書推進を図っています。他にも、幼児から小学校低学年を対象とした「絵本の読み聞かせ」、親子で楽しめる「おはなし会」などの取り組みを行っています。詳しくは、図書館ホームページをご覧ください。



幼児から小学校低学年を対象とした「絵本の読み聞かせ」

■いつどんな本を読んだかを記録「読書手帳」

図書館では読書意欲を高めようと、いつどんな本を読んだか、作家やジャンルなどを記録する「読書手帳」を作製しました。市内の小・中・特別支援学校の児童・生徒には、学校を通じて全員に配布しています。

使い方は、図書館カウンターで発行する本の情報を印刷したシールを手帳に貼り付けます。図書館以外の本でも、手書き記入することができ、自分が読んだ本や何冊読んだかなどが分かります。

図書館で無料配布していますので、大人の方も読書手帳をご利用ください。



A5二つ折りサイズで、100冊分を記録することができます。表紙は加西中1年の三宅澄夏さんのイラスト。



読みたい本を探す生徒

■図書館巡回車が泉中へ初巡回

図書館は6月30日、児童・生徒の読書推進を図ろうと、巡回図書に使う車を導入し、泉中学校で初披露しました。泉中学校では、昼休みを利用して、図書館職員がお薦めの本の紹介などを行い、生徒が読みたい本を探していました。また、本をリクエストする生徒もいました。

市内の小・中・特別支援学校へは、月に100冊の本を持って巡回。また、リクエストに応じた配送も行い、本に親しみを持つ機会を提供しています。

■自分がおもしろいと思う本を読もう

加西市教育委員会が7月9日、読書の魅力や大切さを学んでもらおうと、市内の中学生を対象に、東京大学名誉教授の養老孟司さんの講演会・対談を行いました。

養老さんは、「何でも不思議だと感じると、興味を持ちそれについて調べる。本気で何かをやっている時に、人は一番成長する」などと話しました。また、加西市出身のグラフィックデザイナー・北川一成さんと対談し、「本当におもしろい本に出会えば、本にはまる。その出会いを信じて」などと、語りかけました。



養老さん（左）と北川さんの対談

■高校・大学の情報がわかるコーナーを新設

平成27年度から県内公立高校の学区が再編され、通学の選択範囲も広がりました。また、大学を目指して図書館を利用する高校生も多いため、図書館内に「高校・大学情報コーナー」を設置しました。高校は通学可能範囲で19校、大学は33大学の情報があります。



マイナンバー受け取りのため、正しい住所登録を

平成 28 年 1 月から全国でマイナンバー制度の運用が開始されます。同制度は、社会保障制度や税などの行政手続きの効率化・利便性を高めるもので、住民票のあるすべての方が 1 人に 1 つ「マイナンバー」(12 桁の番号)を持つことになります。

マイナンバーは今後、市民の皆さまがさまざまな行政手続きで、一生使う大切な番号となります。

マイナンバー制度の問い合わせ

マイナンバーコールセンター (内閣府)
☎0570-20-0178 (平日9:30 ~ 17:30 年末年始除く)

10 月からマイナンバーが通知されます

10 月から順次、市民の皆さまにマイナンバーが記された「通知カード」が届きます。

カードは、住民票に記載のある住所地に届きますので、住民票の住所に実際は住んでいない方、集合住宅の建物名や部屋番号の登録のない方は、通知が届かないこともあります。必ず受け取れるよう、正しい住所の登録をお願いします。

住所の異動、記載変更は、市民課 (市役所 1 階) で受け付けています。



平成 28 年 1 月から手続きの際にはマイナンバーが必要

- ①年金、生活保護、児童手当などの社会保障関係
- ②税務署に提出する書類への記載など、税務関係
- ③被災者生活再建支援金の支給など、災害対策関係

今後のスケジュール

平成 27 年 10 月	マイナンバーの通知開始。住所地に通知カードを送付
平成 28 年 1 月	マイナンバーの運用開始
平成 29 年 1 月	国の行政機関でマイナンバーの情報連携開始
平成 29 年 7 月	都道府県・市町村等の地方公共団体でマイナンバーの情報連携開始

マイナンバーの Q & A

Q: なぜ新しい制度ができたの?

A: 市町村や税務署などが、それぞれ個人情報を管理していましたが、統一の番号にすることで、各機関の情報連携がスムーズになり、作業の手間が省け、間違いがなくなります。行政事務の無駄も削減できます。

Q: 番号は何に使うの?

A: 税金や社会保険、国民年金、介護保険などの手続きで使います。

Q: 私たちは便利になるの?

A: 年金や福祉などの申請時に、用意する書類が少なくなります。

Q: 各機関で同じ番号が使われるようになれば、個人情報が漏れやすくなるのでは?

A: 各機関はこれまで通り情報を別々に管理し、やり取りの際には暗号化するなど安全な方法で行います。また、不正に扱うと、個人情報保護法よりも重い法定刑が科せられます。

北条高校活性化協議会の取り組み

問合せ／北条高校活性化協議会(人口増政策課)
☎④8700 FAX③1800 jinko@city.kasai.lg.jp

新しく通学バス、国際交流事業をスタート

北条高校活性化協議会総会が 6 月 24 日に開催され、平成 27 年度の事業計画や予算について協議されました。

加西市の補助金や加西商工会議所会員事業所の寄附金、北条高校 P T A や同窓会の助成金を財源として、3 つの事業に取り組むこととなりました。



4 月に開講したアフタースクールゼミ

①アフタースクールゼミ事業／学校法人河合塾の講師派遣による放課後の講座を実施し、学力の向上を図る。

②通学バス事業／民間事業者が運行する他校用の通学専用バスを北条高校生も利用できるよう支援することで、第 3 学区北部地域からの通学の利便性向上と市外からの生徒確保を図る。

③国際交流事業／オーストラリアの高校と国際交流が行えるような支援を実施し、国際交流の推進と英語の学力向上を図る。